

## F-a-2 環境負荷の全体像 ～マテリアルバランス～

HORIBA は、環境計測に関わる様々な分析・計測機器および周辺機器を社会に提供するとともに、社会的責任を果たすべく、各種環境法規制を遵守し、製品のライフサイクルに配慮した「環境適合製品」の開発に努める一方、生産活動においてもサプライヤーの協力を得ながら、省資源・省エネルギー化に地道に取り組んでいます。また社員が環境問題に関心を持ち、会社周辺や河川の清掃・ごみ拾い、小中学校などへの環境出前授業、行政が呼びかける環境イベントなど、環境ボランティア活動に参加しています。

### 環境への取り組み

2012 年国内 HORIBA グループの環境への取り組みは、統合マネジメントシステム（品質・環境・労働安全衛生）方針の下、安全で高効率なクリーンファクトリーづくりを推進し、地球環境の保全に貢献することを目的に省エネ・省資源活動を展開し、以下を目標に掲げ活動しました。

- ① エネルギー資源の有効利用を図り、売上げ高原単位 CO<sub>2</sub> 排出量を削減する。
- ② ゼロエミッションの維持及び拡大を図る。
- ③ 化学物質の有効利用を図る。

### 環境負荷の全体像 ～マテリアルバランス～

国内 HORIBA グループでは環境負荷の全体像をそれぞれのステージで把握するように努めています。2012 年の環境負荷は、グループ会社で事業所増築という大きな増加要因がありましたが、電力消費は 3% 増に止まり、ガス消費は 5% 減という結果になりました。

また金属材料、梱包材料等の資源消費が前年度に比べ減少しました。

2013 年も節電・省エネの取り組みをはじめ、環境負荷の低減に継続して取り組んでいきます。